

成美BFC活動「防火の心を広げよう!伝えよう!」

高岡市立成美小学校 校長 岩坪 智恵子



第63回高岡市小学生火災予防研究発表大会優良賞

成美小学校 BFC 少年消防クラブは5・6年生 127 名により編成されています。4月の編成式では、高岡消防署長さん方より隊員バッチをいただくとともに、全員で「誓いの言葉」を唱え、火災のない町づくりの大切さを一人一人の胸にしっかりと刻みました。

その後、さっそく5年生は「防火の心を広げよう!伝えよう!」をテーマに、成美校区の方々や全校の子供たちに防火の大切さを広く伝える活動を開始しました。まずはじめは、火事を防ぐために注意することを消防団の方々へのインタ

ビューや書籍やインターネット等を通して調べました。次に、調べたことをもとに、防火を呼びかけるポスターや旗を制作しました。自治会やお店の方々のお力添えにより、掲示板等に設置させていただきましたことに感謝申し上げます。また、お年寄りとふれあう「いきいきサロン」で防火を呼びかけ、9月末の敬老会においてもちらしを配布させていただきました。校内では、「成美BFC新聞」の発行や集会での呼びかけにより全校の子供たちの防火意識を高めることに努めました。1年生には防火の紙芝居を読み聞かせるなど、子供たちなりによく考え、学年に応じた配慮を行いました。活動を通して子供たち自身も火災予防の知識を身に付け、改めてその重要性を学べたように思います。



なお、地震・津波等を含めた総合的な防災学習は、今年も6年生を中心に継続して行っています。いざ



という時に自分で考え・判断し・行動する構えを身に付けることを目指す避難訓練をはじめ、課題を見付け、対策を検討する防災会議等、子供たちが主体となって活動を進めています。今後も子供たち一人一人が災害に応じた防災対策や安全な避難についての知識を身に付けるとともに、安心・安全な社会を目指し、将来の社会の担い手である今の自分たちにできることを考え実行しようとする姿に期待しています。

BFC誓いの言葉

- 一、わたしは、火遊びやたき火はしません。
- 一、わたしは、火の元点検を励行します。
- 一、わたしは、火災予防の知識を身に付けます。
- 一、わたしは、市民に防火の心を伝えます。
- 一、わたしは、火災のない明るいまちづくりに努めます。



高橋市長の検閲の様子



分列行進の様子



下関地内で倒壊建物救出訓練

栄えある表彰

- 富山県知事現場表彰 団員 林 靖浩
- 富山県知事現場表彰 団員 池崎 智幸
- 高岡市長優良表彰 団員 樋口 順彦

平成二十九年 高岡市消防団高岡方面団秋季検閲訓練

十月十九日(日)十三時三十分より十六時三十分

出動部隊 高岡方面団 19個分団 456名
出動車両 18台 特別参加 高岡市消防音楽隊 24名

あいさつ



高岡市消防署長 鳥山 敬文

昔から怖いものを代表して、「地震、雷、火事、おやじ(台風のこと)」と言われていますが、近頃、大雨、ミサイルも増えたと感じております。この怖いものに、たちむかっているのが、消防という組織です。

消防は消防署と消防団で構成されており、消防団は江戸時代、八代將軍徳川吉宗が江戸町奉行「大岡越前守」に対し、「消火を武士だけ(今の消防署に任せず、町人も自分の努力で生命と財産を守らせなさい)」という命令によりできた組織です。(千七百十八年)

時は流れても、発足当時の使命感、郷土愛、男気は脈々と受け継がれている日本最大のボランティア団体でもあります。(全国で約八十六万人)

特に橋本分団長をはじめとする成美分団は、こよなく地域を愛し、仲間を大切にする心暖かい分団でもあります。活動内容は、消火活動をはじめ、大雨時における千保川や小矢部川の巡回警備、台風来襲時の警戒、消防車による防火広報、自主防災組織の訓練指導、歳末警戒等、昼夜問わず多岐に渡っております。このような献身的な活動が、成美校下の安全・安心を支えておられるものと、改めて感謝申し上げます。

成美にお住まいの皆さんは、このような活動を理解し、是非、成美分団に暖かいまなごしを向けてください。そして、分団各位におかれましては、これからも変わらぬ熱いご活動をお願い申し上げます。(操法も頑張ってください。目指せ全国大会)

終わりに、来年は最後の平成の年になりそうです。この元号の意味する、「内外、天地とも平和が達成される」よう、日々の火の用心をお願いします。決め手は「整理整頓」と「慣れた火に」用心です。それでは皆さん、「もち」と「熱いお風呂」に気を付けて、良い日々をお過ごしください。

成美分団の今年の活動報告と会計報告

主な活動
毎月1日、15日定例会と校下巡回広報
春、秋火災予防週間、一週間校下巡回広報
歳末特別警戒12月26日～31日 巡回広報
出初め式と春季・秋季高岡方面団訓練
水防訓練1回、水防出動4回、火災出動(5)回
分団ごとの警防技術訓練、年2回
左儀長警戒2回、自治防災訓練1回
冬季消火栓旗立てと回収、及び除雪
成美小学校の避難訓練の参加
市消防団対抗ボーリング大会
消防ポンプ車と置場の清掃、毎月1回

平成28年 高岡市消防団成美分団火の用心 会計 収支報告書

自 平成28年1月1日～至 平成28年12月31日

収入の部				
項目	予算額	決算額	減増	備考
前年度繰越金	0	0		
火の用心	470,000	468,000	△2,000	
雑収入				
合計		468,000		

支出の部				
項目	予算額	決算額	増減	備考
会議費	100,000	101,410	△ 1,410	幹部会・定例会12ヶ月×2
報奨費	160,000	160,000		分団長会費・補助
分担費	40,000	41,900	△1,900	校下各種団体・協力金・参加費
事務費	5,000	8,020	△3,020	
通信品費	0	5,670	△5,670	
光熱費	50,000	35,331	14,669	ガス・灯油
火災共済掛金	60,000	57,700	2,300	保険
火の用心・印刷費	35,000	32,248	2,752	火の用心印刷費・祈祷玉串料
慶弔費	0	30,950	△30,950	
車両関係費	10,000	11,868	△1,868	タイヤ交換
諸雑費	30,000	44,698	△14,698	その他
予備費				
支出合計	490,000	529,795		
次年度繰越金	0	△39,795		来年度分団報酬より補填

会計監査報告

平成28年度会計監査を実施したところ、帳簿、預金通帳等を慎重に精査したところ、適正かつ妥当なることを認めます。

ねがい道駅伝参加



(5/14)
5年連続参加、消防団をPR!力走しました!

放水訓練の様子



吉久地内での防災訓練、放水の様子。

春季検閲訓練での放水



おとぎの森公園内を流れる千保川での放水訓練の様子。

消防署での警防技術訓練



消防署内での技術訓練の様子。エンジンチェーン等の資機材取扱い訓練。

成美分団の今後の行事

- 12月28日(木)
歳末特別警戒(市長激励巡視)
20:00~22:30
- 12月28日(木)~31日(日)
歳末特別警戒(第2期)
20:00~22:00
- 平成30年1月6日(土)
平成30年度 高岡市消防出初め式
9:00~11:40

成美分団の新人紹介

氏名 山口 泰祐
年齢 43歳
職業 高岡市議会議員
趣味 バスケットボール、料理



コメント
私のモットーは、「明るく楽しく元氣よく」です。皆さんが、朗らかに健やかに安心して暮らせる街を目指しましょう! 防災に全力を尽くします!

★成美分団団員募集★

成美分団では現在、定員が1名の欠員となっております。皆様のご協力をお待ちしております。

成美分団ホームページ
www.senmaike.net/
seibibundan/

団員紹介

階級	氏名	自治会名
分団長	橋本 米暁	開発本町
副分団長	馬場 祐一	五福羽衣町
部長	慶寺 長造	地子木町
部長	栗田 実	五福繩手町
部長	吉田 英喜	開発本町
部長	細呂木 勉	開発本町
部長	橋田 弘嗣	地子木町
部長	橋北 稔	大坪町三・四丁目
部長	折本 寛之	地子木町
部長	関 尚弘	塩倉町
部長	室谷 英夫	五福繩手町
部長	東 弘光	宝町
部長	今村 裕二	レジデンス新成
部長	井波 大介	明野町
部長	林 靖浩	開発本町
部長	池崎 智幸	開発本町
部長	江洲 元将	熊野町一・二丁目
部長	越井 賢一	向野町
部長	村谷 諭志	地子木町
部長	樋口 順彦	新成町
部長	谷 知洋	開発本町
部長	佐野 博保	油町
部長	佐野 博保	油町
部長	鷺北 明紘	向野町
部長	山口 泰祐	京町

いあいさつ

成美分団 分団長 橋本 米暁

地域の皆様には、常日頃より消防団活動にご理解と、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

前分団長の室谷明雄さんが、高岡市消防団副団長に就任され、成美分団分団長を拝命し2年が経過しました。私事ですが24歳で当時の第5分団に入団しました。同じ町の大工さんで消防団員だった川田右門さんが私の店に来られた時、「誰か消防団員になるもん、おらんか」と父に尋ねると「おらとこのあんま、どうや」という一言で入団し、34年になろうとしています。消防団という組織もあまり知らず入団して、はじめての正月「高岡消防出初め式」が挙行される日に祝儀を戴きに成美校区の有志の方々、企業様を廻りました。「あけまして、おめでとーございませう」と挨拶すると、みなさんに「いつもありがとう」「寒い中ご苦労様」「よろしくお願ひしますね」など、温かい言葉を掛けていただき、地域のみなさんに感謝され頼りにされていることを実感しました。

現在、成美分団員定数25名のところ24名であり一名の欠員です。私が入団したころの団員の職業は自営業や職人さんがほとんどでしたが、昨今の団員の職業は、サラリーマン化進み、(H28・4・1富山県78、3%)日中の災害対応が万全とはいえない状況であります。

訪問件数は減りつつありますが分団運営のため今もご祝儀を戴きに廻っています。サラリーマン団員が多い中、正月仕事初め近くの平日に廻るので休めない団員が多く、一部の団員に多くの負担が掛かります。

これらの問題にたいしては成美校区住民皆様のご理解と、ご協力が不可欠であります。他の地域では、連合自治会が中心となり地元消防団の育成のため、全面的に支援を行い、地域全体で消防団を応援し支えている地域もあります。

成美分団の団員は責任感と団結心が強く、郷土愛に溢れています。地域の安全、安心を守るため、また、地域住民の皆様が信頼されるよう、日頃から地域の方とコミュニケーションを図りながら消防団活動を進めてまいります。

「天災は忘れた頃にやってくる」といいますが、最近では忘れる間もなくやってきました。災害に対する備えを、自主防災組織をはじめ地域住民のみならず、消防団員の協力体制の中で、共に地域防災力の強化を図っていきたくと考えております。

これからも、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い致します。

日々、寒さが厳しくなり火を使う事が多くなりますが、取り扱いには十分に注意され、年の瀬をお過ごしください。よろしくお願いいたします。お願い申し上げます。